

2.4 漂流ゴミの実態

2.4.1 漂流ゴミの現状

漂流ゴミ等の現状を把握するため八代海北部海域で漁業に従事している漁業関係者(三角町、松合、松橋小川、竜北町、鏡町、千丁、昭和、八代の8漁業協同組合員60人)を対象にアンケート調査を実施した。

1) 漁船の航行ルートと支障物

漁港に出入港する漁船の漁場との航行ルートは、主に河口から沖に延びる滞、さらに沖合では湾奥～湾央へと縦走し、湾奥部の河口付近まで達している。

対象海域における航行時の支障物は、浅瀬や竹、消波ブロック(テトラ)、沈船、水質観測用ブイが挙げられ、比較的浅海域を中心に点在している。

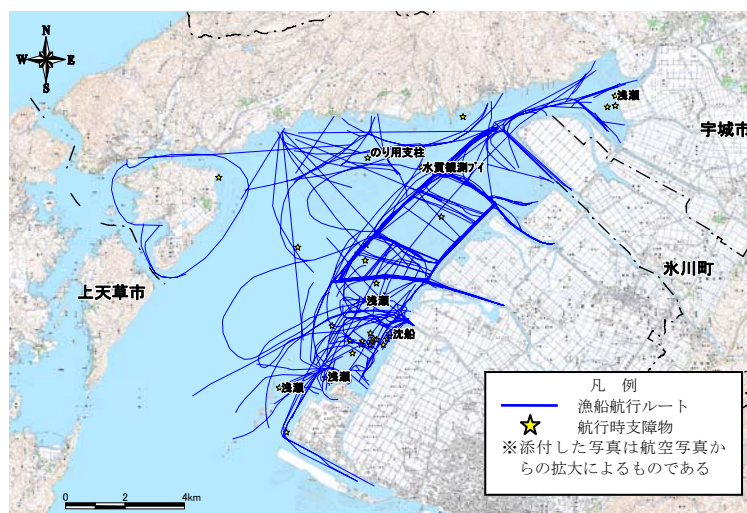
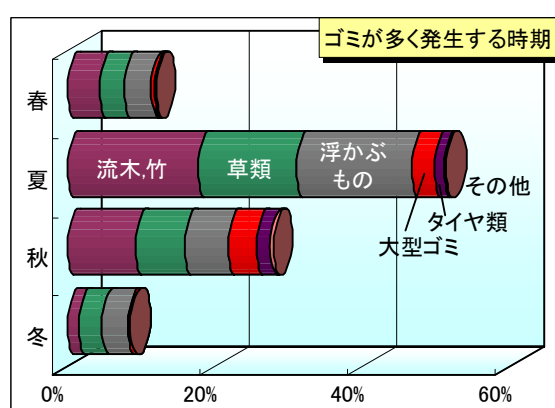


図 2.11 漁船の航行ルートと支障物

2) ゴミの発生と原因

図 2.12 によると、ゴミの発生する時期は、夏が最も多く年間の約半分を占め、夏と秋で年間の約8割を占める。種類別にみた各時期の発生割合に大きな違いはなく、各時期ともほとんどが流木・竹、草類、浮かぶもので占める。

ゴミの発生原因としては、集中豪雨、台風が全体の約7割を占め、これに長雨を加えると全体の約9割近くとなる。種類別では各要因ともほとんどが流木・竹、草類、浮かぶものが占め、集中豪雨や台風の時には大型ゴミの発生もみられる。



※複数回答あり

[時期の区分]

春: 3～5月 夏: 6～8月 秋: 9～11月 冬: 12～2月

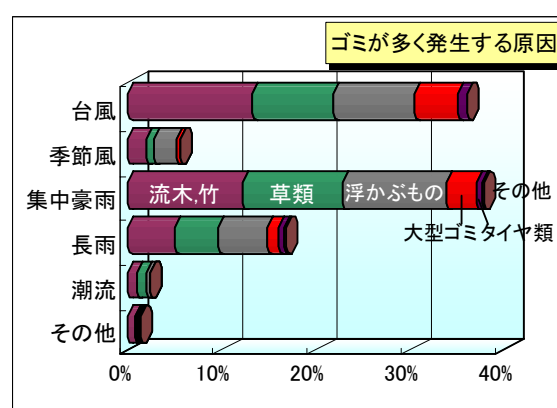
[品目の内容]

・草類: かや・ヨシ等

・軽くて浮かぶもの: ビール、木くず、空き缶、ペットボトル、プラスチック類

・大型ゴミ: 電気製品を含む

図 2.12 ゴミの発生時期



※複数回答あり

[その他]

ダムの放流

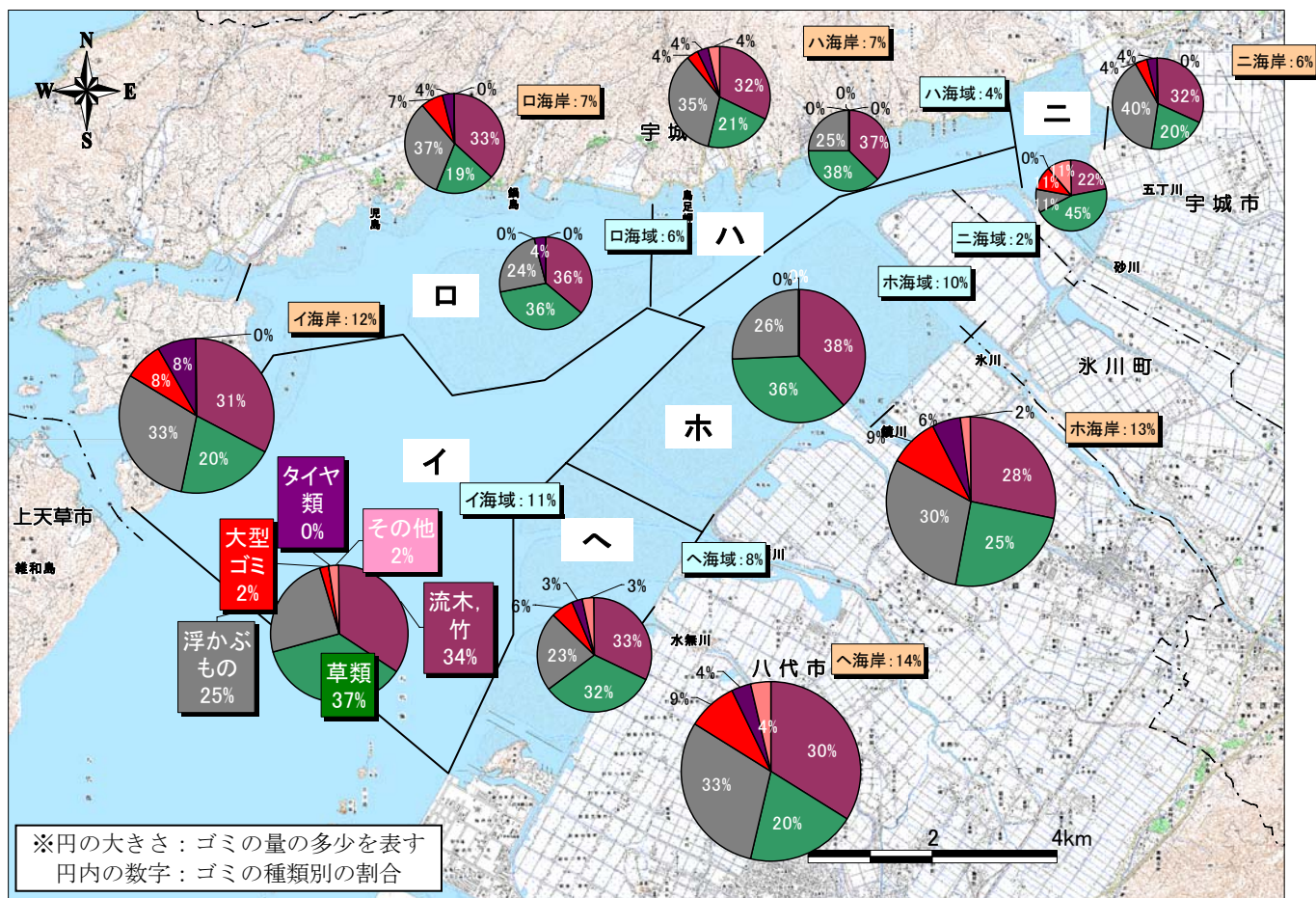
図 2.13 ゴミの発生原因

3) ゴミの滞留状況

ゴミの溜まりやすい場所は、海岸が海域に比べやや多く、イ、ホ、への海岸とイの海域が比較的多い。種類別では、海域、海岸ともに流木・竹、草類、浮かぶものがほとんどを占め、海域では流木・竹、草類、海岸では流木・竹、浮かぶものが比較的多い。

ゴミが多く溜まる時期は、ゴミの発生時期とほぼ同じ夏と秋で全体の約8割を占め、発生したゴミが海域や海岸に滞留して残ったままになっていることが分かる。

ゴミが溜まっている期間は、半月から1ヶ月以上が全体の8割近くを占め、中長期にわたって海域や海岸に滞留している。



〈図の説明〉対象海域をイ～への6つに区分し、さらに海域(ゴミが海面をただよっている場合)と海岸(ゴミが岸に溜まっている場合)に2分した

図 2.14 ゴミの溜まりやすい場所

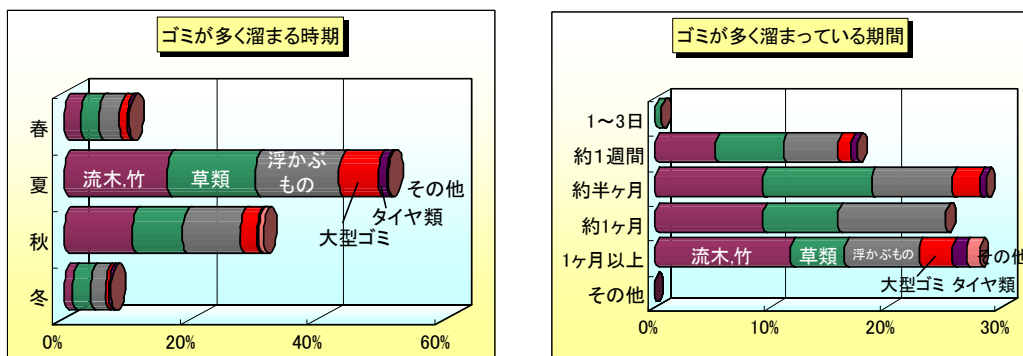


図 2.15 ゴミの多く溜まる時期と期間

図 2.17 によると、被害を受けた場所は、イ、ホ、への海域とへの海岸が比較的多い。ゴミによる被害は、漁船と網等漁具が全体の約 6 割を占め、その半分以上を流木・竹が占める。漁船では浮かぶものの被害も全体の約 1 割を占める。また、その他として、のり製品へのゴミ混入による被害も生じている。

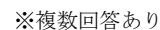
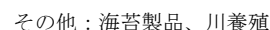


図 2.16 自分でゴミ回収を行った場所(左図)と回収が困難なゴミの割合(右図)



※複数回答あり

図 2.17 ゴミによる被害場所(左図)とゴミによる被害項目の割合(右図)

5) 漂流ゴミに対する意見

アンケート調査により、記述して頂いた意見は次のとおりである。

[漁業関係者]

- 行政(国、県、市町)による回収策を望む(漁業者も協力する)
- 異常ゴミの処理に対しては焼却を容認してもらいたい
- ゴミ回収船の増設を望む
- 河川から発生するゴミが多く、中流域でのゴミ回収や河口での仕切り網により回収してもらいたい
- 集中豪雨等による流木、肥料袋、ナイロン袋のゴミ等が、貝類養殖やつぼ網漁等の支障となったり、のり製品へ混入し、大きな被害を受けている
- 台風や集中豪雨、潮流や風によってゴミが海域や海岸に流れ困っている

[沿岸自治体]

▼海域・海岸のゴミによる被害などの実状と困っていること

- 海岸の景観悪化・漁業操業への影響となっている
- 漂着ゴミの量・種類などによって管理者では、すぐに対応できない
- 大雨の後、山林から河川を経て大量の「流木」が流出、漁業者・遊漁者などの船舶のプロペラ破損による危険や小型定置網等への被害が生じている
- 流木が水分を含み浮き沈みするような状態になった時や、流木が見えない夜間の漁業及び船舶の航行が安心して行えないという声も聞いている
- 梅雨時や台風時の出水時期に大量のゴミ（生活ゴミ・農業関係ゴミ・木材や木片）が不知火干拓南側護岸に滞留するため、船の運航に支障をきたし、さらに景観上好ましくない
- 台風時などにゴミが堆積し、樋門の開閉に支障をきたし、海岸のゴミとその後の処理代が掛かる

▼海域・海岸のゴミの回収や運搬、処理など対策に関して工夫していること

- 海岸沿いのゴミについては、各種団体(宇城市)により一斉清掃を実施している
- 海域環境の美化活動を推進するため、漁港の清掃活動の団体（漁協：宇城市）に、活動経費を助成（熊本県）している
- 清掃業務委託事業として漁業者等(八代市)に委託して流木の撤去を行っている。（予算の関係上一部地域のみ）
- 協議会の事業として、漁業者(八代市)に軍手やゴミ袋などを配布して、漁に出た際にあがったゴミを持ち帰る「ゴミの持ち帰り運動」を行っているが、ゴミ袋に収まりきれない流木等は、回収者が自己負担で処分している。

▼海域・海岸のゴミの対策として考えられることや望むこと

- ゴミの流入経路の把握・調査
- 「海輝」による回収ができない浅海域の対策の確立
- 市民参加型のボランティア活動で海岸等のゴミ清掃
- 海のゴミを除去する船・施設等の新設・増設
- 人為的に海に排出されるゴミを排出をしないようなPR活動と意識改善
- ゴミ処理に関する経費の減免措置